



巻頭特集 重点目標 特集 虹のかけはし

photo/新生「上田市」発足記念式典

8月19日、上田市民会館で新市発足の記念式典が行われました。
第一部の式典では、合併功労者の表彰と市章デザイン入賞者の表彰などが行われ、
小学生の意見発表も行われました。
第二部の文化アトラクションでは、吹奏楽演奏、合唱奏が行われ、
最後に全員で「ふるさと」を合唱しました。

巻頭特集

重点目標

各部署の重点目標は

市長と

各部署長の契約です。

新市の初めての予算が成立し、本格的なまちづくりがスタート。
そして新生上田市では、新たに「目標管理制度」を定めました。
この制度は「部署の重点目標」から「個人の目標」までを体系的に構築して、
目標の明確化と効率的な施策推進を目的としています。
個人の目標は上司と部下との契約、各部署の重点目標は市長と各部署長の契約です。
また、市民の皆さんに公表して約束することで、説明責任を果たしていきます。

CONTENTS

目次

3	巻頭特集 重点目標
2	国保・老健制度改正
9	都市マスタープラン
10	入園案内
12	イベント・ナビ
16	情報あらかると(催し)
18	(お知らせ)
21	講座・教室
22	募集
23	相談
24	文芸
26	各施設イベント紹介
42	合併記念イベント
2	四つ葉スケッチ
2	特集 虹のかげはし
2	四喜折々



財政部

財政部長

土屋 朝義(つちや・ともよし)

貴重な財源を生かして
個性の光るまちづくり

- 1 時代の「変革」に対応できる新市の安定的な財政基盤の確立
- 2 市税等収納率の向上による自主財源の確保
- 3 遊休財産の処分の推進
- 4 適正・公平な課税の推進
- 5 公共工事入札制度の改善

新生上田市が、将来にわたって持続的に発展を遂げていけるような、安定的な財政基盤を構築していくことが財政部の命題であると考えます。国の三位一体の改革や19年度からの歳出・歳入改革などにより、今後も市財政は厳しい状況が続くと予想されます。

市独自の施策を展開し、自主性を高めていくためには、自主財源の確保が重要で、市税等の収納対策の強化と遊休公有地の処分など増収対策を積極的に進めます。

合併によるスケールメリットや合併特例債など合併の効果を最大限に生かした財政運営に努め、市民の皆さんに合併してよかったと言ってもらえるように、新市将来構想を具体化し、新たなまちづくりを進めてまいります。



総務部

総務部長

小出 俊(こいで・たかし)

明るく元気な市役所づくり

- 1 「行財政改革大綱」の策定による行財政改革の推進
- 2 市民、職員の一体感の醸成
- 3 災害に強い元気な上田市の体制づくりと迅速な対応
- 4 男女共同参画社会の形成と次世代育成支援対策の推進
- 5 情報化の推進

「市役所が変われば地域が変わる」こんな意識で、明るく、元気な職員による元気な市役所づくりを推進してまいります。

市役所を変えていくために、新たな視点にたった「行財政改革大綱」を策定し、市役所全体で「職員の意識改革」、「組織改革」、「仕事改革」の三つの改革を推進してまいります。

新生上田市が誕生したことにより、広報・広聴の充実や情報化の推進を図り、より一層市民の皆さんの一体感を醸成して行くとともに、災害が発生した場合の迅速な対応を図ることができる災害に強いまちづくりを行ってまいります。

男女が、互いに人権を尊重し、共に支え合い、責任を分かち合うとともに、自立した個人としてその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会を推進してまいります。



政策企画局

上田地域自治センター長兼
政策企画局長

小林 憲和(こばやし・のりかず)

新生「上田市」の一体感の醸成と
まちづくり計画の策定

- 1 総合計画の策定
- 2 上田地域自治センター管内の地域協議会の設置及び運営
- 3 JT上田工場跡地における公共利用の方向性の決定
- 4 新市新体制による実施計画の策定
- 5 教育制度改革のあり方の検討

新上田市が始動して早くも7か月が経過いたしました。旧市町村が培ってきた歴史、文化、伝統など、先人たちの汗と知恵により大切にされてきたものは尊重をし、新市の中でさらに磨き、生かすための工夫、努力を積み重ね、新市の一体感の醸成を各地域自治センターとの連携を図りながら、市民の皆さんとの協働により築いてまいります。

新市のまちづくりの指針となります総合計画を策定するため、合併協議をもとに策定されました、新市建設計画を尊重し、様々な市民参画をいただきながら、今年度末には基本構想の素案をまとめてまいります。

今後、より地方自治体の自立能力が試される時代に入ってくることから地域自治センターが設置されました。それぞれのセンター毎に地域協議会を立ち上げ、行政と市民の皆さんによる協働の運営ができるよう努めてまいります。



商工観光部

商工観光部長

宮下 省二(みやした・しょうじ)

元気な産業・にぎわいと
交流のまち創りを推進

- 1 中心市街地活性化基本計画(上田地区)の策定
- 2 魅力ある新市観光戦略プランの構築と推進
- 3 活力ある商工業の促進
- 4 産学官の連携とものづくり支援
- 5 行ってみたくなる観光施設の創造

活力ある産業を推進するため、県内トップクラスの工業集積地である強みを生かし、オンリーワンの産業や技術開発を促進する施策や産学官の連携を強化するとともに企業誘致に努めるほか、中小企業の事業活動を支援する融資制度の充実を図ってまいります。また、中心市街地(上田地区)における特色あるまちづくりを目指し、民間による事業も含めた活性化のための実効性ある中心市街地活性化基本計画の策定を行います。

にぎわいと交流のまち創りを推進するため、多くの観光資源を生かした四季折々の上田の魅力を発信し上田のファンづくりに努めます。さらに新市の具体的な観光施策を推進するにあたり観光基本計画を策定し、イベント内容の充実、観光施設のあり方等の見直しを行い、観光戦略を構築する中から観光客の誘客を図ってまいります。



健康福祉部

健康福祉部長

大井 正行(おおい・まさゆき)

高齢者も障害者もみんなが
住みなれた地域で安心して
生活できる地域社会のために

- 1 生活習慣病予防のための健康増進事業の推進
- 2 高齢者の介護予防・生きがいのづくりの推進
- 3 障害福祉計画及び障害者基本計画の策定
- 4 地域の周産期医療及び産院の現状を踏まえ、今後のあり方の検討
- 5 効率的な保育所運営と適正配置

市民の健康づくりのため、健康サポートカーを活用したヘルスプロモーション事業と食育を中心とした乳幼児からの生活習慣病予防の支援事業を推進します。

高齢者がいつまでも元気で、また介護が必要になっても安心して住みなれた地域で暮らせるよう筋力向上教室等の介護予防や、通所・訪問・泊り等小回りがきく地域密着型サービスの充実を図ります。

障害者の皆さんが能力や適性に応じ、自立した生活を営むことができるよう地域生活支援事業について、利用者の自己負担軽減等の支援に取り組めます。

また、総合的な視点で障害者のための将来を見据えた長期計画、障害者福祉サービスの数値目標と基盤整備の計画策定をします。



市民生活部

市民生活部長

塩野崎利英(しおのざき・としひで)

かけがえのない自然を未来に!!
まちづくりは市民協働で!!

- 1 循環型社会の形成と環境保全の推進
- 2 市民協働の推進と市民協働庁内指針の作成
- 3 安全で安心なまちづくりの推進
- 4 外国籍市民への支援と多文化共生社会づくりの推進

合併により上田市は、美ヶ原高原から菅平高原までに市域が広がり、よりいっそう豊かな自然を持つことになりました。この豊かな自然を未来に引き継いでいくためにも、今年度は新市の環境基本計画を策定してまいります。

また、環境に優しい資源循環型社会を築くため、ごみの減量を図るとともに、4地域で異なるごみ処理方式の統一に向け検討を進めます。

国、地方を通じた財政難と分権型社会の進展の中で、都市間競争に勝ち抜いていくためには、市民の皆さんとの「協働」の視点は欠かせません。とりわけ、市民の皆さんに最も身近な自治の単位である自治会・区との協働は重要です。今年度は、各事業を進めるに当たっての具体的な協働の基準の策定に向け検討してまいります。



消防部

消防部長

手塚 一彦(てづか・かずひこ)

市民との協働による
安全・安心のまちづくり

- 1 火災予防体制の充実と災害弱者対策の強化
- 2 救急・救助体制の充実による消防力の強化
- 3 「消防力の整備指針」に基づく消防力の向上
- 4 新市消防団組織の整備充実による防災力の向上
- 5 広域消防組織等の整備による消防本部体制の充実強化

高齢社会の進行と相まって救急車の出動件数が年々増加しており、今後もこの傾向は続くものと思われます。また、住宅火災等においては高齢者などの災害弱者による死傷者が頻発するなど、市民の安全・安心に対する信頼感が揺らいでいます。

住宅防火対策と高齢者等災害弱者の安全対策を目的として、一般住宅に設置が義務付けられました住宅用火災警報器について、自治会、自主防災組織及び消防団などとの協働のもと普及促進に向け取り組んでまいります。また、緊急時の救命率を上げるため自動体外式除細動器(AED)について、多くの市民の方が取り扱えるよう救急講習会などを積極的に開催し、市民生活の基盤である安全・安心な暮らしの確保に努めてまいります。



都市建設部

都市建設部長

峰村万寿夫(みねむら・ますお)

安全・快適、住みやすい
まちづくりの推進

- 1 安全・安心のまちづくりに向けた都市施設の整備
- 2 新市の一体感を形成する交通体系の整備
- 3 別所線存続支援の継続とバス等公共交通活性化プログラムの策定
- 4 都市計画マスタープランの策定
- 5 市営住宅の環境整備と使用料の収納率の向上

市民のニーズとまちづくりビジョンをもとに、安心・快適な生活を支える道路や公園、公共交通などの都市基盤を充実させていきます。

渋滞解消や新市内外の交流・経済活動の向上に向け、国道バイパス、都市環状道路、上田駅へのアクセス道路などの道路網の整備を推進します。

市内全域における公共交通の効果的な運行を図るため、公共交通活性化プログラムを策定するとともに、別所線の存続支援、利用促進を推進します。

災害危険箇所の早期把握と対策に努めるとともに、住まいの安全確保のための耐震診断を実施します。

新市の土地利用のあり方や都市基盤整備の方針など、将来の「まち」の目指す姿を描く都市計画マスタープランを策定します。



農政部

農政部長

大沢 和正(おおさわ・かずまさ)

地域の特色を生かした
農業・林業ビジョンの創造

- 1 これからの地域農業を支える担い手の確保
- 2 地産地消の推進
- 3 森林整備と里山の利用促進
- 4 農業観光と都市農村交流事業の拡大を図る
- 5 魅力ある田園整備

産業としての農業を振興し、所得アップのため努力するのは当然のことです。こうした中で、消費者のニーズを適確に捉え生産体制や流通体系にどう取り組むかが課題です。

農家の経営安定につながる取り組みとして、りんごオーナー制度等や都市と農村の交流を積極的に進めます。

担い手対策としましては、国の政策を受け認定農業者の育成、集落営農の組織化に取り組みます。

新上田市になり面積の70%を占める森林につきましては、健全な森林育成を重点課題とし、自治会や財産区など森林所有者と協働で整備方針を構築します。また、豊かな水量をほこる神川、依田川、武石川等を有しており、水源かん養林の保護育成のため整備方針を作成します。



武石地域自治センター

センター長

宮下 政登(みやした・まさと)

地域協議会を中心として
重要課題の推進を

- 1 武石地域協議会の設置による地域づくりの推進
- 2 放課後児童施設設置の検討
- 3 武石財産区の立ち上げと運営
- 4 自主防災組織の結成
- 5 県営中山間地事業の円滑な推進

地域自治センターは、市役所の総合支所であるとともに、住民の皆さんとの協働によるまちづくりを進めることがその使命ですので、早期に地域の代表者からなる地域協議会を設置します。

地域協議会は、地域づくりを行うための核となる機関で、住民の皆さんの注目度・期待も大きく、協議会の運営の成否が分権型合併の成否とも言えます。大きな市になり行政に住民の声が届かなくなるのではという不安を払拭し、住民参画のもとに地域の重要課題に対処していきます。

今年度は特に、合併前からの地域の課題であった児童館の設置・運営など、列挙した項目を中心に、自由闊達なご意見をいただく中で、事業を推進していきます。



真田地域自治センター

センター長

小市 邦夫(こいち・くにお)

夢と希望の持てる
市民参加のまちづくり

- 1 真田地域協議会の設置と体制整備
- 2 住民サービス充実をめざす窓口対応の向上
- 3 真田地域内の冬季における生活道路の交通確保
- 4 菅平高原自然館改築のための調査研究

合併元年と位置づけられる今年度の目標には、今後の地域づくりをすすめるための核となる「地域協議会」の体制整備が第一に挙げられます。合併により更に地域が発展していく、そうした市民の期待に応えられるよう、将来に向けての体制づくりと協議内容等についての周知に努めてまいります。

現在、地域自治センターは総合支所として住民に身近な業務を残し、地域の皆さんに対する行政サービスを低下させることのないよう取り組んでいます。そうした中で、さらに住民サービスの充実をめざし窓口業務をはじめとする事務処理の改善工夫を推進していきます。

冬季に向けては、生活道路の安全確保のため、地域との協働により除雪体制の整備に取り組みます。



丸子地域自治センター

センター長

小林 健一(こばやし・けんいち)

市民協働で拓く
個性ある快適なまちづくり

- 1 「生活者起点」の理念による丸子地域自治センターの経営
- 2 安全で快適な生活環境の実現
- 3 丸子地域協議会の設置による協働のまちづくりの推進
- 4 分権型自治による新しい地域経営方式の構築
- 5 丸子温泉郷の活性化

「市町村合併により役場がなくなり不便になる」、「行政サービスが低下する」といった住民の不安を解消する手段として地域自治センターが設置されています。

窓口業務など事務処理に当たっては「行政サービスを低下させず」を念頭に、各課・係が連携し効率的な執行と、親切・適切・迅速な対応に努めていきます。

また、地域住民の要望や意見を集約し、行政に反映させるため地域協議会を設置します。そして、住民と行政が役割を分担しながら協働のまちづくりを進め、地域課題の解決を目指します。

市民の皆さんのご協力を得ながら、安全で安心な生活環境の整備を進めます。

上下水道局



上下水道事業管理者
小山田秀士(おやまだ・ひでし)

快適な生活環境を創り
おいしい水の安定供給を

- 1 安心、安全、おいしい水の安定供給
- 2 快適な生活環境の創造
- 3 地域循環プロジェクトの推進
- 4 上下水道の経営、業務体制の強化

水質の保全、施設の維持や更新を行い、安全でおいしい水を供給するとともに将来人口や給水区域の再編などを考慮した将来計画を策定いたします。

下水道整備は、上田地域・丸子地域で積極的に行うとともに、34の処理場の統一的で効率的な運営を考え下水道計画の見直しを行います。

発生する汚泥や浄水場堆積物を地域で再利用するための「地域循環プロジェクト」を進めます。

親しまれる上下水道局を目指し広報紙を発行するとともに、常設の審議会を設置し、合併に伴い、地域間格差のある上下水道料金等の統一に向けて検討を進めます。

料金・使用料により経営している上下水道局ですので、納め忘れのないようお願いしながら便利で確実な口座振替納入を進めてまいります。

教育委員会事務局



教育委員会事務局次長
中村 明久(なかむら・あきひさ)

「かがやけ上田の未来っ子」で
子どもの成長を支援
生涯学習では条件整備を

- 1 「かがやけ上田の未来っ子」
～幼保小中の一貫した教育を目指して～
- 2 安全で安心な教育環境の整備
- 3 健康づくりとスポーツ環境の整備
- 4 自ら学ぶ生涯学習のまちづくり
- 5 地域文化の継承と創造

上田市では今年度から「かがやけ上田の未来っ子」を共通認識として、これをもとに子どもの成長を学校・家庭・地域・企業などが連携支援していくこととしました。取り組みは子どもたちがもともと持っている伸びる力を大切に、幼保小中の一貫した教育を進める中で、あいさつの輪を全市に広げることから始めたいと思います。

このほか上田市新教育プランの策定、学校施設の改築・改修の整備促進、安心安全な教育環境づくりにも取り組みます。

また、生涯学習面では、新市総合計画に歩調を合わせ、長期的な構想・計画づくりを中心に、生涯学習、図書館づくり、スポーツ、文化などの分野で、市民の皆さんの自主的な活動が活発に展開できるよう条件整備を図ってまいります。

皆さんのご意見をお待ちしています。

「各部署の重点目標」の詳細は、市のホームページに掲載してあります(<http://www.city.uedanagano.jp/pc/index.html>)。「各部署の重点目標」を選択してください。また、市役所本庁舎1階及び各地域自治センターの行政情報コーナーで公開しています。

上田市は、「市民の皆さんとの協働による新たなまちづくり」を進めています。各部署の重点目標をはじめ、市政へのご意見をお寄せください。

「市長への手紙」は無料でお出しただけの専用はがきですが、市役所本庁舎1階総合案内窓口、各地域自治センター、公民館に備え付けられています。Eメールは、市のホームページの「市政へのご意見・ご提案」を選択してください。

行政改革推進室 ☎ 22・4100(代)

秘書課 ☎ 22・3435

(内線1931・1932)



10月1日から 国保・老人保健の制度が 一部変わります

少子高齢化が急速に進行する中、とりわけ高齢者の皆さんの医療費増加が続いています。

このような中、皆さんの生命と健康を支える医療制度を今後も持続するため、国保と老人保健の制度が一部変更されることになりました。

1 現役並み所得のある70歳以上の方の自己負担割合が上がります。

2割(平成18年9月まで) → 3割(平成18年10月から)

現在1割負担の方の負担割合は1割のまま変わりません。

◆現役並み所得者とは

70歳以上の国保加入者または老人保健で医療を受ける人のうち、現役並みの所得(課税所得が145万円以上)のある人が同一世帯にいる人をいいます。

【現役並み所得となる世帯の収入】

	平成18年7月まで	平成18年8月以降
高齢者夫婦2人世帯	621万円以上	520万円以上
単身世帯	484万円以上	383万円以上

◆新たに「現役並み所得者」になった人への経過措置

平成18年8月実施の税制改革により、現役並み所得と判断される収入基準が下がり、現役並み所得者に該当する人が増えました。そのため、新たに現役並み所得者に移行する70歳以上の高齢者については、経過措置として平成18年8月から2年間、自己負担限度額は「一般」の額に据え置かれます。

2 高額療養費の自己負担限度額が引き上げられます

ただし、所得が少ない世帯の自己負担限度額は据え置かれます。

◇70歳未満の方

上位所得者(※1)	150,000円+加算額(※2) 〈83,400円〉(※3)
一般	80,100円+加算額 〈44,400円〉
低所得者 (住民税非課税世帯)	35,400円+加算額 〈24,600円〉

◇70歳以上の方

	外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)
一定以上 (現役並み所得者)	44,400円	80100円+加算額 〈44,400円〉
一般	12,000円	44,400円
低所得Ⅱ	8,000円	24,600円
低所得Ⅰ	8,000円	15,000円

※1 上位所得者とは、基礎控除後の総所得金額が670万円(10月以降は600万円)を超える世帯をいう。

※2 加算額とは、総医療費から控除額を引いた額の1%の額

※3 < >内の金額は過去一年間に高額療養費が4回以上発生した場合の4回目以降の金額

●70歳未満の上位所得者の人工透析の自己負担限度額が引き上げられます

1万円(平成18年9月まで) ⇒ 2万円(平成18年10月から)

上位所得者でない方の負担限度額は1万円のまま変わりません。

3 療養病床入院時の負担が引き上げられます

介護保険との負担の均衡を図るために、医療保険適用の療養病床(おもに長期入院を必要とする患者のための病床)に入院する70歳以上の高齢者の食費及び居住費の負担が引き上げられます。

4 出産育児一時金が引き上げられます(1児につき)

30万円(平成18年9月まで) ⇒ 35万円(平成18年10月から)

問 地域自治センター

市 国保年金課 ☎23・5118

市 市民生活課 ☎72・0154

丸 市民生活課 ☎42・1053

武 市民生活課 ☎85・2827

住みよいまちづくりのために

（新市の都市計画マスタープランをつくりまします）

◆都市計画マスタープランって？

賑わいのある街、のどかな田園風景の農村、閑静な住宅街：様々な「まち」の姿があります。

皆さんの住む地域では、「高い建物ができて日当たりが悪くなったり」「あの開発で車が増えたり、うるさくなった」等々、今まで快適だった住環境が乱されるようなことはありませんか？

都市計画マスタープランは、皆さんの地域が、どんな生活環境を目指していくのか、また道路や公園、下水道などをどのように整備するのか、

という将来の新市の「まち」の姿を描いていく最も基本的な都市計画です。



◆これからのまちの課題

全国的に人口減少が始まり、上田市でも、5年間で約3千人もの人口が減っています。人口の減少は、まちの規模、経済、税収などに大きく影響しますので、それに対応できるまちづくりが必要で、また、増加している高齢者の皆さんが生活しやすいまちづくりも必要です。

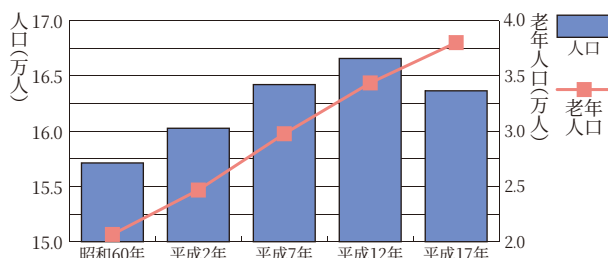
上田市がこれからも、皆さんに愛され、住み続けられる生活快適都市であるために、まちづくりの方針を具体的に定めていく必要が高まっています。

◆皆さんでまちづくりを考えましょう

新上田市が誕生し、一体的なまちづくりを目指すと同時に、地域の個性を活かしたまちづくりをしていくことも必要です。魅力ある地域をつくるために、地域の皆さんが一丸となった、まちづくりへの熱い思いが大切です。皆さんの思いが実現できるように、一緒に計画づくりをしていきたいと考えています。

問 都市計画課 ☎23・5127

新上田市の人口と老年(65歳以上)人口



◆まちづくりアンケートを実施します

10月下旬頃に1万人の市民の皆様を対象に、まちづくりについてのアンケート調査を実施します。ご協力をよろしくお願いします。

ひろげよう 育てよう みどりの都市 10月は都市緑化月間

もし、緑・植物がなくなったら私たちはどうなるのでしょうか？身近な緑が果たしている役割や、花いっぱいのもちづくりを進めることの大切さを改めて考えてみましょう。月間中、次の行事が予定されています。

問 公園緑地課 ☎23・5134

◇「花を育て隊」を募集中

来春に花を咲かせる、成長過程の小さな苗(プラグ苗)をポット上げし、市が管理している花壇に植えていただけるボランティアを募集します。花のことを語り合いながら、楽しく作業をしてみませんか。

- ポット上げ作業 10月5日(木)・6日(金)午前9時30分から2時間程度(上田城跡公園内プール西側)
- 植付け 11月22日(木)午前中
- 申込み 公園緑地課へ電話で。

◇庭木の剪定講習会

家庭向けの剪定講習です。実際の作業を通じてすぐに役立つ基礎的な技術を学びます。

- 日時 10月28日(土)午後1時30分～2時間程度
- 場所 いにしへの丘公園 (マルチメディア情報センターの下)
- 対象 市内在住か在勤の方
- 内容 Aコース(松の剪定)

Bコース(松以外の剪定)

Cコース(A・B両方)

- 講師 上田市造園緑化業協会の皆さん
- 持ち物 剪定はさみ、刈り込みはさみ(作業のできる格好で)。
- 申込み 10月20日 までに公園緑地課へ。

「心豊かな子ども」を育てる支援をしています

保育園 入園受付のご案内

市では、「心豊かな子ども」を保育目標に、家庭と手を取り合い、地域とのふれあいを大切にしながら、一人ひとりに向き合った保育をしています。家庭と保育園でいっしょに、子どもたちの心身の健やかな成長を考え、見守っていきましょう。

■保育園はどんなところ？

保育園は、保護者が仕事・病気等により、家庭で子どもの保育ができない場合に、0歳から小学校就学前までの乳幼児を対象に、家庭に代わって保育を行う児童福祉施設です。

■保育時間は？

月～金…午前8時30分～午後4時30分

土…午前8時30分～午後0時30分

(園によって保育時間が異なる場合があります。)

保護者の勤務等に合わせて、朝・夕ともに時間を延長している保育園があります(表1参照)。利用の際は、保育料のほかに延長保育料が必要です。

■保育料はどうなるの？

公立・私立とも基本となる保育料は同じです。家庭の課税状況(保護者等が前年に支払った税金の額)や子どもの年齢によって決まります(年齢は、4月初日で判断します)。

市では、保護者の負担を軽減するため、次のような場合に保育料を軽減しています。

- ・同一世帯で2人以上の児童が同時に入園している場合
 - ・同一世帯の第1子が小学生で、第3子以降にあたる児童が入園している場合
- なお、詳しくは保育課にお問い合わせください。



保育サービスの紹介

□入園児童を対象にしているサービス

- 休日保育…保護者の仕事の都合等で休日に保育を必要とする場合に利用できます。利用する際は、利用登録が必要となり、平日に振替休日をとっていただきます。申し込みは通園する保育園にしてください。ただし、緊急の場合は休日保育実施園に直接申し込んでください(表1参照)。
- 障害のある子どもの保育…保育園での集団生活が可能な範囲で預ります。
- 給食…地場農産物の利用に努め、安全でおいしい給食を提供します(献立表配布)。なお、3歳以上児については、主食を持たせてください。

□入園していない児童を対象としているサービス

- 一時保育…保護者の仕事(求職活動等)・出産・病気(通院)・冠婚葬祭等で、一時的に家庭で子どもの保育をすることができない場合に利用できます。一時保育料が必要です。

□その他のサービス

- 子育て支援・相談：子育て支援センターや各保育園で受付します。また、園開放等も行います。詳しくは各自治センター・公民館に設置してある子育て支援センター通信をご覧ください。
- 子育て支援施設「ゆりかご」(産院に隣接。☎21・5008)では、病後児一時預りや出産後のお母さんと赤ちゃんの生活を応援する出産育児支援を行います。

平成19年度 公立幼稚園入園の受付

■問合せ

丸 学校教育課 ☎42・1044

幼稚園では、新しく入園を希望されるかたを対象に、次のとおり平成19年度の入園申し込みを受け付けます。

■入園基準 満3歳以上(平成19年4月1日現在)であること。ほかに条件はありません。

■授業料 すべて保育園に準じます。左頁「保育園入園の受付」を参考にしてください。

■受付期間 11月6日(月)～9日(木)午前8時30分～午後6時

■受付場所 入園を希望する幼稚園

■申込書 10月10日(火)から各幼稚園・丸子地域教育事務所学校教育課・丸子地域自治センター市民生活課市民係で配布します。

幼稚園名	所在地	電話番号	保育時間(延長含む)	定員(人)	一時保育	休日保育
			平日(土曜日)			
ちぐさ	塩川2620	35・0652	8:00～18:00 (8:00～12:30)	75	×	×
わかさ	上丸子895	42・2237				

平成19年度 保育園入園の受付

保育園では、新しく入園を希望されるかた、または育児休業終了から入園を希望されるかたを対象に次のとおり平成19年度の入園申し込みを受け付けます。



■入園できる基準

- 保育園に入園できるのは、次のいずれかに該当するかたです(詳しくはご相談ください)。
- 保護者が家庭外で働いている、または自営業・内職をしているため子どもの保育ができない(ただし、育児休業中は基準に該当しません)。
 - 母親が妊娠中である、または出産後間がない(この場合、入園期間に限度があります。詳しくはお問い合わせください)。
 - 保護者が病気や心身の障害など、または家庭にいる病人等を看護しているため児童の保育ができない。
 - 火災・風水害・地震などの災害のため、その復旧の間、児童の保育ができない。

■受付期間

受 付 日	受 付 場 所
11月6日(月)～7日(火) 12:00～18:00	入園を希望する保育園
11月8日(水)～9日(木) 8:30～19:00	市役所 南庁舎3階 保育課 丸子・真田・武石各地域自治センター健康福祉課 ※保育園で申し込みをしなかった場合

(表1) 保育園の概要

	保育園名	所在地	電話番号	保育時間(延長含む)		定員(人)	入園年齢	一時保育	休日保育
				平日(土曜日)					
私立	甘 露	中央5-9-29	22-7665	7:00～20:00(18:30)	90	0歳から	○		
	芙 蓉	中央北2-7-51	22-1147	7:00～19:30(18:00)	150	0歳から			
	聖ミカエル	中央3-16-1	22-1361	7:00～19:00(17:00)	60	0歳から	○		
	かんざおん	常磐城3-7-48	22-1595	7:00～19:20(19:00)	80	0歳から	○		
	みのり	中之条501-10	22-0465	7:00～19:00(17:30)	90	0歳から	○		
	西 丘	芳田1411-1	35-1157	7:00～19:00(19:00)	150	0歳から	○		
	常 田	常田2-30-17	22-1520	7:30～19:30(17:30)	36	0歳から	○		
	秋 和	秋和864-3	27-8820	6:45～19:45(19:00)	120	0歳から	○		
	三好町	諏訪形1169-1	25-1160	7:00～19:30(18:00)	175	0歳から			
公立	あゆみ	古里824-8	23-0503	7:15～19:15(18:00)	90	0歳から	○		
	東 部	常田3-4-34	22-0682	7:30～19:00(17:30)	140	0歳から	○		
	南 部	常田1-5-1	22-7108	7:30～19:30(17:30)	70	0歳から		○	
	北	常磐城5-7-25	22-3475	8:00～18:00(12:30)	90	1歳から			
	塩 尻	上塩尻195-1	22-3476	8:00～18:00(12:30)	60	1歳から			
	神川第一	大屋631-2	35-0299	8:30～16:30(12:30)	60	1歳から			
	神川第二	芳田1766-2	35-0349	8:00～18:00(12:30)	60	1歳から			
	国 分	国分745-イ	27-0105	7:30～18:00(15:00)	60	1歳から			
	神科第一	住吉707-2	22-0597	8:00～18:00(12:30)	100	1歳から			
	神科第二	古里137-6	22-0598	7:30～19:30(17:30)	170	0歳から		○	
	豊 殿	芳田982-3	22-6802	7:30～18:00(15:00)	90	0歳から	○		
	城 下	諏訪形934	22-0887	7:30～18:30(15:00)	120	0歳から			
	川 辺	上田原518	22-5029	7:30～18:30(17:00)	120	0歳から			
	下之条	下之条801-イ	27-2986	8:00～18:00(12:30)	75	1歳から			
	泉 田	吉田157-3	22-5163	8:00～18:00(15:00)	60	1歳から			
	塩田中央	中野419-1	38-2512	7:30～19:30(17:30)	130	0歳から	○	○	
	東 塩 田	下之郷806-3	38-2552	7:30～19:00(17:30)	150	0歳から			
	西 塩 田	手塚1086-3	38-2609	8:00～18:00(12:30)	80	1歳から			
	塩 田 北	小島122	38-2636	7:30～19:00(17:30)	120	0歳から			
	浦 里	仁古田171	31-2058	7:30～19:00(15:00)	90	0歳から			
	室 賀	下室賀2336-1	31-2142	8:00～18:00(15:00)	60	0歳から			
	小 泉	小泉739-4	24-7356	8:30～16:30(12:30)	60	1歳から			
	中 丸 子	中丸子1852-5	42-2644	7:30～19:00(17:30)	120	0歳から	○		
	み な み	腰越1376-1	42-2183	7:30～18:30(12:30)	70	1歳から			
	東 内	東内2570-1	42-2217	8:00～18:00(12:30)	60	1歳から			
	西 内	西内8	44-2200	7:30～18:00(12:30)	60	0歳から	○		
	依 田	生田4953-2	42-2423	7:30～18:30(12:30)	150	0歳から			
	長 瀬	長瀬2466	42-2401	7:30～18:30(12:30)	110	0歳から	○		
	塩 川	塩川1458	35-0034	7:30～18:30(12:30)	70	1歳から			
	さ な だ	真田町長6301	72-2050	7:30～19:00(12:30)	150	0歳から			
	そ え ひ	真田町傍陽6293	73-2532	7:30～19:00(※)	60	0歳から	○		
	すがだいら	菅平高原1223-392	74-2160	8:30～18:00(12:30)	60	1歳から			
	武 石	下武石752	85-2113	7:30～19:00(12:30)	120	0歳から	○		

※土曜日は、さなだ保育園で受け入れます。

■申込方法

申込書は10月10日(火)から各保育園・保育課・各地域自治センターで配布します。必要事項を記入のうえ提出してください。このほか、申込書以外に必要な書類があります。詳しくは、申込書といっしょにお配りする「保育園入園のしおり」をご覧ください。なお、出産前から申し込みができます。母子健康手帳をお持ちのうえ申し込みをしてください。

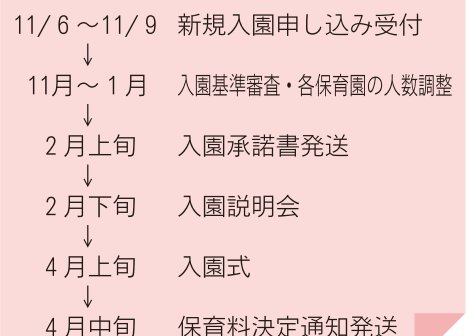
■保育園・保育料の決定等

入園年齢は4月初日の年齢で判断します。入園希望園の申し込みが集中した場合は、第2希望以降の保育園になる場合があります。また、4月～6月までの保育料は暫定で決定し4月中旬に通知します。正式な決定は、市県民税額の確定後(通常は6月)になります。この決定に伴い年度途中で保育料が変更になる場合があります。

■途中入園

特別な事情で急きょ入園する必要がある場合は、受け入れの可能な範囲で年度途中での入園を受け付けています。

【申し込みから入園までの流れ】(概要)



■問合せ 保育課(☎23・5132) 丸子地域自治センター健康福祉課(☎42・1118)
真田地域自治センター健康福祉課(☎72・2203) 武石地域自治センター健康福祉課(☎85・2067)
ホームページアドレス <http://www.city.ueda.nagano.jp/hp/ht/hoiku/index.html>

情報 あ・ら・かると

市 上田市役所
tel 22-4100 (代) fax 25-4100 (代)

真 真田地域自治センター
tel 72-2200 (代) fax 72-4140 (代)

丸 丸子地域自治センター
tel 42-3100 (代) fax 43-3666 (代)

武 武石地域自治センター
tel 85-2311 (代) fax 85-2313 (代)

●日時 10月21日(土)午前10時～午後3時

●場所 うえだ環境フェア実行委員会では、「なにより実践！環境にやさしくらし」美しい地球を残すために、をテーマにうえだ環境フェアを開催します。

第19回うえだ環境フェア

催し
Information a La Carte

●場所 上田創造館

●内容 出展団体による消費生活、環境にやさしい生活、リサイクルなどに関する展示・実演、環境クイズ、電気自動車コーナーなど。フリーマーケットも同時開催。エコ文具、花鉢、サラさらさ(園芸用肥料)ほかプレゼントや、農産物、農産加工品他の販売もあります。

●問 市生活環境課 ☎23・5120

スマイルママネットUEDA
子育てサークルネットワーク
からのお知らせ

ハわくわくファミリーフェスタ

●日時 10月21日(土)午前10時～午後2時

●場所 市民プラザゆう及び一中跡地

●対象 乳幼児及びそのご家族の方

●内容 おはなしパケット号、歯科検診&歯科指導、腹話術、お手玉

イベント ナビ

10月8日～22日

Event Navi

日付	行 事 名	問い合わせ先・関連ページ
8	・東海林のりこさん講演会 ・上田古戦場健康・ハーフマラソン	上田地域シルバー人材センター ☎23・6002 体育課 ☎23・5105
9	・丸子体育祭ヘレツゴー！	丸子総合体育館 ☎43・2250
11	・介護者の会「なのはな」 ・全国地域安全運動(～20日)	高齢者介護課 ☎23・5140 ⇒ P13
12	・第2回やすらぎの会 ・地域別懇談会(丸子地域)	健康推進課 ☎28・7123 ⇒ P18
13	・健康づくり教室	⇒ P19
14	・学校給食展 ・素敵な笑顔づくりで健康ライフ ・子育て講演会 ・グラウンド・ゴルフ前期教室	⇒ P14 ⇒ P16 ⇒ P19 ⇒ P18
15	・きのこ狩り体験 ・視覚障害者の方の料理講習会 ・ささらの湯温泉まつり ・図書館まつり ・生涯学習上田自由塾公開講座 ・第48回真田地域一周駅伝大会	農林課 ☎22・4100 上田点字図書館 ☎22・1975 ⇒ P13 ⇒ P14 ⇒ P19 真田公民館 ☎72・2655
17	・市長「お気軽ミーティング」(菅平高原国際リゾートセンター) ・農業所得の収支計算説明会	秘書課 ☎22・3435 ⇒ P18
18	・巡回行政相談所(19日)	⇒ P21
20	・長野盲学校開放	⇒ P17
21	・第19回うえだ環境フェア ・わくわくファミリーフェスタ ・映画「スティービー」無料上映会 ・下水処理場開放 ・第9回民話フェスティバル in うえだ(22日) ・上田市高齢者文化祭(22日) ・第5回真田幸村 ロマンウォーク(22日)	⇒ P12 ⇒ P12 ⇒ P14 ⇒ P14～15 ⇒ P16 ⇒ P16 観光課 ☎23・5408
22	・第17回ともしびの里駅伝大会	武石公民館 ☎85・2030

※参加申込みが必要な催しもありますので、必ずお問い合わせください。

市章バッジ販売中!!

新生上田市の誕生を記念し、市章バッジを製作しました。販売価格は一個500円です。購入ご希望の方は、市役所秘書課へ(各地域自治センターでも購入できます)

問 市 秘書課 ☎22・4100(内線1117)



(原寸大)

全国地域安全運動の実施

全国を上げての運動です。「地域の安全は、地域で守る。」を合言葉に被害に遭わないようにしましょう。

●実施期間 10月11日(水)～10月20日(金)

●スローガン 「みんなでつくろう 安心の街」

●運動の重点 ①住宅を対象とする侵入犯罪(空き巣・忍び込み)の防止、②街頭型犯罪(車上ねらい、乗り物盗)の抑止、③子どもの安全を確保するための防犯パトロールの強化、④振り込め詐欺(オレオレ詐欺や架空請求詐欺)等の被害防止

問 市生活環境課 ☎23・5120

等の伝承遊び、コンサート、迷路
お絵かきコーナー、豚汁・おにぎりコーナー他

募集

①わくわくファミリーフェスタのフリーマーケットに出店しませんか？
出品内容は子どものものに限りま
す。出店料は500円です。

②使わなくなったおもちゃや本を寄
付していただけませんか？美品に
限ります。ご協力いただける方は、
神科第二保育園子育て支援センタ
ーへお知らせ下さい。

問 神科第二保育園子育て支援セン
ター ☎21・1222

第25回 丸子四季の里総合文化祭

丸子文化協会に加盟する各団体の
会員及び市内外の子どもから大人ま
でが参加して行う総合文化祭です。
皆様のご参加、ご来場をお待ちして
おります。

●入場料 無料(お茶会、囲碁大会
を除く)

●場所 丸子文化会館セレスホール

●総合美術展
日時 10月26日(木)～29日(日)午前9
時～午後6時(29日は午後3時ま
で)(会員以外の個人作品募集中。
締切りは、10月24日(火)まで

●お茶会
日時 10月29日(日)午前10時～午後
3時 一席 3000円

●ピアノリレーコンサート(丸子文
化会館自主事業)
日時 10月29日(日)午前9時～午後
5時

●地域芸能祭
日時 11月3日(金) 午前9時30分
～午後4時(予定)

●華道展
日時 11月3日(金)～4日(土)
午前9時30分～午後5時(4日は
午後4時まで)

●丸子洋ラン展
日時 11月1日(水)～3日(金)
午前9時～午後6時

●丸子囲碁大会
日時 11月5日(日) 午前9時～午
後4時

●参加費 1000円(昼食付)

問 丸子地域教育事務所 社会教育
課 社会教育係(丸子公民館)
☎42・3147

体操と温泉を楽しむ会

●日時 11月1日(水)・15日(木)・29日
(水)午前10時～11時30分

●場所 別所温泉相染閣

●内容 青竹踏み、玄米ニギニギ体
操など

●対象 3回参加できる方

●定員 30名

●申込み 10月10日(火)～、午前8時
30分～午後5時15分の間に健康推
進課へ電話で(定員になり次第締
め切り)。

●参加費 保険料150円(3回分)
問 市健康推進課 ☎28・7124

室賀温泉ささらの湯 10周年記念温泉まつり

●日時 10月15日(日)午前10時～

●会場 室賀温泉ささらの湯

●内容 健康相談、室賀の里豊年太
鼓や塩田西小学校六年生のコカリ
ナ、第六中学校吹奏楽部の演奏な
どの催し、各種模擬店出店、豚汁
サービス

●その他 開館10周年を記念し、様々
な景品が当たる抽選会も開催。

問 室賀温泉ささらの湯
☎31・1126

<広告欄>



紙ごみも今やゴミではありません。
事業系紙ごみもリサイクル
機密書類・オフィス古紙・ミックスペーパー
資源回収、鉄・非鉄金属、産業廃棄物、一般廃棄物



一般のご家庭からの不用品も受入れしています。

ごみのことならお電話ください



小柳産業株式会社

材木町 2-12-10
東内 1472

TEL.22-5353
TEL.43-0053

催し——前ページの続き

2006

上田地域総合産業展

●日時 10月13日(金)、14日(土)

午前9時～午後4時

●会場 上田城跡公園体育館・上田城跡公園第二体育館

●内容 「産」「学」「官」「食」をコンセプトに、上田市・東御市・坂城町の企業や大学・短大・高校が、優れた製品・技術・情報・研究を発信します。

また「上小地域の♪ふ〜♪再発見フェア」「長野県発明くふう展」「平成ロボコン大会」も同時開催されます。ぜひお出かけください。

問 上田商工会議所

☎ 22・4500

映画「ステイビー」 無料上映会

一人の青年が、ある少年の「ビッグ・ブラザー(更正を助ける兄役)」に。十年後、青年は映画監督になり、少年は社会から疎外された存在になっていた。問題を抱えながら愛と絆をあきらめなかった家族。そして、それに深く関わった映画監督の矛盾した思いを浮き彫りにしたドキュメンタリー。

●日時 10月21日(土)午後2時開演

【上映時間145分】

●会場 長野大学リブホール
(定員320名)

●入場料 無料(要チケット)

●チケット配付場所

①③で各100枚程度(先着順)

①長野大学地域連携センター

(〒386-11298 上田市下

之郷658-1 ☎ 0268・39・

0007)

②真田坂キネマギャラリー・幻灯舎

(〒386-00012 上田市中

央1-3-1 ☎ 0268・21・

7280)

③長野大学 小林 一博研究室

最新情報

問 長野大学産業社会学部助教授

小林 一博

☎ 090・4721・9943

丸子金子図書館 「図書館まつり」

●日時 10月15日(日)午前10時～午後4時

●場所 丸子金子図書館

●時間/内容

・午前10時～/エプロンママ・図書館職員によるお話会

・午前10時40分～11時30分/折り紙

工作

・午後2時～3時30分/大切な本に

カバーをしてみよう(先着10

名)

・午後2時～4時/古本差し上げ市

(図書館の古本差し上げコーナー

等に置いてある本をご自由にお持

ちいただけます。)

問 丸子金子図書館

☎ 23・5129

学校給食展開催

●日時 10月14日(土)

午前9時～午後4時

●場所 上田城跡公園第二

体育館(上小地域の

ふ〜ど再発見フェア内)

●内容 上田市(上田地域の)学校給

食の紹介(学校給食実物展示・給

食の歴史紹介) 子どもが作る簡

単おやつを紹介 お箸の持ち方

(豆運びゲーム)コーナー

問 市子ども教育課

☎ 23・5101

第9回 千曲川クリーンウォーク

●日時 10月29日(日)午前8時～9時30分

●集合 千曲川市民緑地(小牧橋下

上堀グラウンドサッカー場)

●内容 景観を楽しみながらの清掃

持ち物 軍手、ゴミはさみなど

(ゴミ袋は配布します)

問 管理課 ☎ 23・5129

新『上田市』発足記念 下水処理場開放

●日時 10月21日(土)

午前9時～午後3時

お好きな時間にお越しください。

<広告欄>



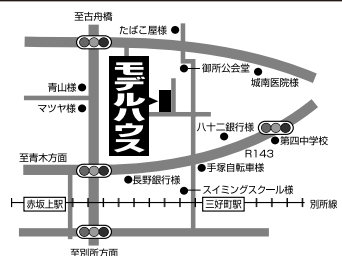
新モデルハウス

風景になる
信州の家

これまでに建ててきた実績を大切に
県産材と自然素材にこだわった
やすらぎと温もりの家。

OPEN

●土日にご来場ください!



信州建設工業株式会社改め

美し信州建設株式会社

上田市中之条1268-1 TEL0268-27-6667

市有財産売却のお知らせ

①市の事業の終了等により使用しなくなった次の土地等を競争入札によりお売りします。

所在地	種別	売却予定面積	用途(備考)	問合せ先
古里2062番6	土地	682㎡(約206坪)	住宅・事務所 ほか(旧NHKラジオ中継放送所跡地)	公有財産管理室
保野827番1 保野819番2	土地 建物	262㎡(約79坪) 612㎡(約185坪)	倉庫・住宅・事務所 ほか (旧保野なめこ施設)	
前山520番1	土地	386㎡(約117坪)	住宅 ほか (旧塩田中教員住宅跡地)	
浦野69番4 ほか	土地	461㎡(約139坪)	住宅 ほか (旧川西警察官駐在所跡地)	
生田4969番1	土地	405㎡(約122坪)	住宅 ほか (旧飯沼教員住宅跡地)	丸子地域自治センター庶務課

- 1 売却方法 一般競争入札により、市があらかじめ決定した「予定価格」以上で最も高い価格で入札された方にお売りします。
 2 申込期間 10月3日(火)から10月17日(火)まで
 3 入札日時 10月24日(火)午後2時から
 4 入札場所 上田市役所南庁舎5階第3・4会議室

② 中丸子地区の市有宅地を分譲によりお売りします。

所在地	区画	売却予定面積	用途	分譲価格(円)	備考	問合せ先
中丸子 1490番7・8	1	245㎡(約74坪)	個人住宅	10,400,400	一部 地役権 設定	丸子地域自治センター庶務課
中丸子 1490番9・10	2	245㎡(約74坪)	個人住宅	10,391,900		
中丸子 1490番14 ほか	8	238㎡(約71坪)	個人住宅	10,094,200		

- 1 売却方法 随意契約(公募により申込み多数の場合は抽選)
 2 申込期間 10月3日(火)から10月17日(火)まで
 各物件の詳しい情報、入札に関する説明書及び申込書は、各物件の問合せ先の公有財産管理室又は丸子地域自治センター庶務課で配布しています。また、上田市ホームページでもご覧いただけます。
 なお、現地説明会は実施しませんので、現地の確認等は希望者において行ってください。
 公有財産管理室 ☎22・4100(内線1262・1928)
 丸子地域自治センター庶務課 ☎42・1210

●場所 南部クリーンパーク(上田市下之条)
 丸子浄化センター(上田市生田)
 真田浄化センター(上田市真田町長四日市落合橋上流側)
 武石地区クリーンセンター(上田市武石沖)
 ●内容 うえだ環境フェアと併せて、下水道事業にも興味を持っていた

だくため、下水処理場を開放します。ふだん何気なく出している生活排水が微生物の力できれいになり、川に流れていくまでの過程を見学しませんか?顕微鏡を使って水処理に一役買っている微生物を見ることが出来ます。



ツリガネムシ

●参加費 無料
 市 下水道課 ☎22・4100(内線1538)
 区 下水道課 ☎42・3100(内線116)
 区 下水道課 ☎72・2200(内線247)
 区 建設環境課 ☎85・2311(内線36)

<広告欄>

MC-FAN
血液サラサラ検査

が受けられます(要予約)。
(保険外診療)

インフルエンザワクチンの接種は10月からできます。(要予約)

予約『時刻予約専用回線』 ●診察している日の朝8時30分から診察終了時刻まで
 ☎0268-25-2771
 電話受付『自動順番受付機』 ●診察前日の20時30分から受付
 ☎0268-29-5811



こさとクリニック
 長野県上田市古里1926-17 電話 0268-28-4111
 ●内科 ●皮膚科 ●呼吸器科 ●アレルギー科

診療時間 月・火・水・金曜日/午前8:30~12:30、午後3:00~6:30
 土曜日/午前8:00~12:30
 休診日 木曜日、日曜日、祝祭日、土曜午後



催し——前ページの続き

第8回まちなか「健康の駅上田」イベント 素敵な笑顔つくりで 健康ライフ

●日時 10月14日(土)午後2時～(約90分)

●場所 海野町丸陽ビル1F

●内容 ①セミナー「素敵な笑顔の法則」／講師・信州大学繊維学部感性工学科・上條正義助教授と菅原徹工學博士 ②笑顔写真撮影とアドバイス(10人程度)

●参加費 無料

●申込み 10月12日(木)まで、まちなか健康の駅上田へ。

●問い合わせ「健康の駅上田」(丸陽内) ☎22・2400

上田市文化支援事業

「第9回民話フェスティバルinうえだ」

「太郎ばなし」を中心に、語り、展示発表、紙芝居、パネルシアターなどを行います。語り継がれてきた民話を通じ、地域文化を見つめなおしてみませんか。

●日時 10月21日(土)、22日(日)午後1時～4時(22日は午前10時～)

●会場 さくら国際高等学校(旧西塩田小学校)

●入場料 無料

●実行委員会事務局(斎藤)

☎38・5229

✉minwaken@yahoo.co.jp

第29回上田市高齢者文化祭

●日時

10月21日(土)午前10時～午後3時
10月22日(日)午前9時～午後2時

●会場 高齢者福祉センター

●内容 クラブ会員の作品展示、交流会(茶席、ダンス等)、ステージ発表、三好町保育園(21日)太鼓、染谷丘高校舞踊班(22日)、豚汁の無料配布(なくなり次第終了)、野菜・果物・手工芸品等の即売

●その他 オレンジバスの各コースで無料送迎バスを運行します。パンフレットは、高齢者福祉センター、市役所、支所、公民館、社会福祉協議会にあります。

●高齢者福祉センター

☎22・4119

お知らせ

Information a La Carte

住宅の耐震診断や 耐震改修を考えて みませんか？

市では、地震の発生に備え、今年度から戸建て木造住宅を対象に、無料の耐震診断及び耐震改修の助成制度をスタートします。

●対象住宅 次の条件をすべて満たす住宅。なお、申込みができるのは建物の所有者となります。

・昭和56年5月31日以前に建築工事

に着手した住宅

・個人所有の一戸建て住宅(店舗などの併用住宅の場合は2分の1以上が住宅であること)

・在来工法の木造住宅(ツーバイフォー工法や非木造は含まれません)

●診断申込 簡易耐震診断と精密耐震診断は、市役所本庁舎4階建築指導課窓口にある「上田市住宅耐震診断士派遣申込書」(市のホームページにも掲載)に必要事項を記入の上、提出してください(所有者の印鑑が必要です)。申込後、市から耐震診断士を派遣します。申込順となりますので、診断実施は次年度以降となる場合があります。

●耐震補強工事 耐震診断の結果、耐震補強が望ましいとされた住宅

(※総合評価1・0未満)で、希望のあった住宅の工事に対し、耐震補強工事費の2分の1(限度額60万円)の助成を行います。ただし、助成には所得制限があります。詳しくは、お問い合わせください。

●市建築指導課 ☎22・4100

(内線1542・1543)

社会生活基本調査が 実施されます

総務省統計局では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。生活時間の過ごし方などを調査し、多様化するライフスタイルの実態を行政施策の基礎資料とするためです。

< 広告欄 >

10月1日制度改正により

(死亡保障重視) (入院保障重視)

生命型と入院型の良いところがひとつになった

総合保障型誕生

お問い合わせと資料のご請求は

長野県民共済

■上田

☎0268-24-3985 (代)
FAX.0268-24-3902



これ1つで、入院保障も死亡保障も手厚く!

県民のための県民共済から、新しい安心『総合保障型』が、ついに誕生。これまでの『生命型』と『入院型』の良いところを合わせた充実の保障内容です。もちろん掛金は据え置き。また、すでに『生命型』『入院型』にご加入いただいている皆様の保障についても、自動的に『総合保障型』へと更新されます。入院も通院も、そして万一の時も。進化した保障『総合保障型』が、皆様の毎日にさらなる安心をお届けします。

ホームページ <http://www.nagano-kyosai.or.jp/>
携帯電話からはこちらへ <http://koyo-sai.jp/>

元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会 <http://www.kyosai-cc.or.jp/>

取扱団体/長野県認可

長野県民共済生活協同組合

〈上田〉〒386-1104 上田市福田下田9-33

SBCラジオ 県民共済提供「YES! 県民共済 聞いてるほど」毎週日曜日18:05～(約4分間)放送

お知らせ — 前ページの続き

「新生上田の未来を語る」

地域別懇談会にご参加ください

第一次総合計画策定に係る地域別懇談会を、次のように開催します。

◆新生上田の未来を語る

地域別懇談会日程表(10月分)

日時／会場(対象地域)

10月7日(土)午後2時／上田商工会議所ホール(全市)

10月12日(木)午後7時／丸子文化会館小ホール(丸子)

問 市政策企画課 ☎23・5112

40歳・50歳歯周疾患検診はお済みですか

対象者の方は受診してください

●対象者 上田地域または丸子地域に住民票がある今年度40歳と50歳の方

●受診期限 平成19年2月末日(期限が過ぎると受診できません)

●受診方法 指定医療機関に予約してから受診してください。

●検査費用 40歳：無料 50歳：500円(自己負担)

●検査内容 問診・口腔内検査・保健指導・事後指導

●持ち物 40歳：40歳健診無料受診証・健康保険証

50歳：歯周疾患検診のご案内通知・健康保険証

問 市健康推進課 ☎28・7123

丸子保健センター
☎42・1117

農業所得の収支計算説明会

平成18年分の農業所得申告からすべての方が収支計算することとなります。次の日程で、農業所得収支計算説明会を開催します。今回は最後の説明会となります。初めて収支計算をされる方は、必ずご参加ください。なお、所要時間は2時間の予定です。

開催日	会場	開始時間	問合せ
10月17日(火)	上田創造館	午前10時～・午後1時30分～	市税務課 ☎23・5115
10月24日(火)	丸子文化会館	午前10時	市税務課 ☎42・1030
10月31日(火)	農村環境改善センター(豊殿地域自治センター隣)	午前10時～・午後1時30分～	市税務課 ☎23・5115
11月9日(木)	武石公民館	午後2時	市民生活課 ☎85・2827
11月22日(木)	真田地域自治センター	午後2時	市民生活課 ☎72・0154

講座・教室

Information a La Carte

「消費生活大学」受講生募集

●日時 10月26日～12月14日のうち6回開催、午前10時～午後3時

●場所 上田消費生活センター等

●内容 消費者問題に係る専門的知識を習得し、地域において消費者活動ができる方を養成。詳しくは上田消費生活センターへ

●対象 20歳以上の県内にお住いの方

●定員 約50名

●受講料 無料

●応募締切 10月11日(水)

●上田消費生活センター ☎27・8517

問 上田消費生活センター ☎27・8517

グラウンド・ゴルフ(前期)教室

●期日 10月14日～毎週土曜日 全10回

●時間 午前9時～11時

●会場 上田城跡公園内招魂社となりのグラウンドゴルフ場

●対象 市内在住・在勤の方

●受講料 500円

●申込期間 教室期間終了時まで随時

●その他 障害をお持ちの方、車椅子での参加もできます。

●上田市グラウンド協会(猪飼) ☎24・7826

< 広告欄 >

キャンペーン期間
2006年10月1日～2007年3月31日

うまし北陸

JTB中部上田支店
TEL. (0268) 22-2880
上田市天神1-8-2(ホテルサンルート上田1F)
●営業時間/10:00～18:00 (水曜・祝日定休)

飯島耳鼻咽喉科

院長 飯島勇三 医学博士・耳鼻咽喉科専門医
副院長 飯島正道 医学博士・耳鼻咽喉科専門医

上田駅より徒歩5分

診療日 水 金土
院長 副院長 月火
平日 AM9:00～12:00/PM2:00～5:30
土曜 AM9:00～12:00/PM1:00～3:00
上田市大手1-1-78
☎0268(22)1270

ホテル祥園
中央1丁目
やまぎわ薬局
LIVIN
小・中・高
上田駅

情報あ・ら・かると

森の学校【I】開催

●日時 10月28日(土) 午前9時～正午

●場所 市民の森公園・市有林

●内容 森づくり、五平餅づくり

●対象 小・中学生とその家族

●参加料 子ども300円、大人500円

●定員 40名(先着順)

●申込み 10月20日(金)までに農林課へ(詳細は申込者に後日連絡いたします)

●農林課 ☎23・5122

健康づくり教室

●日時 10月13日(金) 午前10時30分～正午

●会場 高齢者福祉センター

●対象 市内在住の60歳以上の方ならどなたでも

●高齢者福祉センター ☎22・4119

子育て講演会の開催

近年、前頭葉の機能が低下し「荒れる」「キレる」など、自分の行動を抑えられない子どもが増えてきた原因は何か。日・米・韓の子どもを対象に30年におよぶ研究から、テレビやゲームでない現代の日本社会に潜む黒幕を明らかにする。

●日時 10月14日(土)午後1時30分～3時

●会場 上田市武石公民館 コミュニティーホール

●演題 「蝕まれる子どもの脳を育てる」

●講師 信州大学教育学部助教授 医学博士 寺沢宏次氏

●入場料 無料

●武石地域教育事務所 ☎85・2030

生涯学習上田自由塾 公開講座

●日時 10月15日(日)午後6時50分～9時

●場所 上田文化会館大ホール

●内容 午後7時～8時

●演題 「これからの生涯学習

～清見潟大学塾に学ぶ～」

●講師 庄司勲氏 (静岡市清見潟大学塾塾長)

●午後8時10分～9時 演題 「風林火山」

●講師 益子輝之氏(民俗研究家)

●入場料 無料 中央公民館 ☎22・0760

ひよこ教室

「赤ちゃんのころからの

歯科保健」

●日時 11月9日(木)

●午後1時30分～3時

●場所 丸子保健センター

●内容 歯科医師による乳幼児期の

●歯の健康についての話

●対象 市内在住の4～8か月ぐらいのお子さんの保護者(参加費無料)

●申込み 10月26日(木)までに電話で丸子保健センターへ。

●丸子保健センター ☎42・1117

点訳ボランティア入門講座

●日時 10月24日(火)～12月26日(火)午後1時～午後3時(全10回)

●場所 ふれあい福祉センター

●内容 点訳に必要な基礎知識とパソコン点訳の方法を学びます。

●対象 市内在住で毎回出席でき、受講後活動できる方。

●受講料 無料(テキスト代実費)

●定員 15名(先着順)

●申込み ボランティアセンター ☎25・2629

上小手話サークル 秋の手話入門講座

●日時 10月20日～11月24日の毎週

●金曜日 午後7時～9時

●場所 ふれあい福祉センター

●受講料 400円(テキスト代)

●定員 30名(初心者対象)

●申込み ボランティアセンター ☎25・2629

募集

Information a La Carte

明るい選挙啓発標語を募集

今年は、上田市議会議員一般選挙、長野県知事選挙が行われ、来年には、長野県議会議員一般選挙、参議院議員通常選挙が予定されています。

政治を身近に感じ、明るくきれいな選挙への意識を高めてもらうために、「明るい選挙啓発標語」を募集します。

内容 明るい選挙推進に関するもの(一人1点・未発表のもの)

●応募 はがきかEメールに標語、住所、氏名、年齢(小学校4年生以上)、性別、電話番号を記入し、10月31日(火)までに、選挙管理委員会へ応募してください。

小中学生は、学校で取りまとめて応募してください。

●宛先 〒386-8601上田市選挙管理委員会「選挙啓発標語」係

✉senkan@city.noda.nagano.jp

(件名を「選挙啓発標語応募」としてください)

●入選作品 明るい選挙推進のため積極的に活用させていただきます。また、入選者には記念品を贈呈します。

●選挙管理委員会事務局

☎23・5438

募集

「青少年善行表彰」を実施します

市では、地域社会で善い行いをした青少年に対して、表彰することにより、誇りと自信を高め、さらに豊かな心と実践力の育成を図ることを目的に青少年善行表彰を実施します。

●対象 市内に在住または通学若しくは通勤する概ね18歳以下の方

●表彰基準 ①勇気、親切を示し、周囲を明るくする行いをした方、②道徳心、公共心を高める行いをした方、③自立心に富んだ行いを

別所線利用促進シンポジウム
「ふるさとの原風景－別所線の魅力再発見－」
画家 原田泰治さんが語る別所線の魅力

- 日時 10月28日(土)午後1時30分～4時
- 会場 相染閣ホール(別所線別所温泉駅下車徒歩5分)。
来場の際は別所線をご利用ください。
- 入場料 無料
- 内容 ①基調講演「ふるさとの原風景(仮題)」原田泰治先生(諏訪市在住、画家) ②シンポジウム「ふるさとの原風景を走る別所線」をテーマに、今年別所線を題材にするなど、別所線とかかわりのあった画家の皆さんにより、別所線の魅力を語っていただきます。 ③上田演劇塾アトラクション ④別所線写真コンテスト表彰式
- 問 別所線電車存続期成同盟会事務局(地域交通政策課内)
☎22・4100(内線1509)

乗って残そう別所線

別所線電車は、地域の重要な交通手段としてのみならず観光、環境、文化、教育など様々な面において貴重な財産・地域の装置として、その果たす役割は大きく、別所線を存続させることは非常に重要です。

市は、上田電鉄(株)(旧上田交通(株))と、平成16年に3年間の「別所線の運行に関する協定」を締結し直接的な支援を行うとともに、「乗って残そう」をキーワードとした利用促進策を事業者、地域の皆様と一体となり進めています。

平成17年度の輸送人員は122万8千人余で、前年度マイナス0.9%ポイントであり、その下げ幅は平成9年度以来8年ぶりに1%を切るまでになっていますが、9年連続の前年比割れの状況が続いており、依然厳しい状況です。

別所線が将来にわたり、運行が継続されていくためには、なんと言っても輸送人員の確保、利用者が増加することが絶対条件です。「乗って残す」を基本に、市民の皆様方の更なるご協力、ご支援をお願いします。

なお今年度は、3年間の運行協定の最終年度となることから、去る8月11日に、上田電鉄株式会社から上田市に対し、別所線の運行にかかる支援の継続についての要請がありました。

市としましては、当初の公的支援決定の経緯を十分踏まえ、安全で継続的な運行維持を念頭に、今後の運行協定の見直しを進めてまいります。

問 市地域交通政策課 ☎22・4100(内線1509)

第55回市民総合体育大会
の参加者募集

- テニス
- 期日 10月29日(日)ダブルス
11月5日(日)シングルス
- 会場 ダブルス／古戦場公園テニ

した方、④誠実、責任、努力が認められる行いをした方、⑤その他、人のため社会のために奉仕するなど善い行いをした方

●推薦方法 各公民館にある推薦書を10月31日(火)までに生涯学習課へ。

問 市生涯学習課 ☎23・5104

スコート、シングルス／上田上席公園東・西テニスコート

●種目 シングルス／一般男女、35・45歳以上(男子)、小学生男女、中学生男女

ダブルス／一般男女、35・45歳以上(男子)、小学生男女、中学生男女

- 参加料 2000円
- 申込方法 10月20日(金)までに参加料を添えて左記へ。
- 問 テニスハウスワカツキ
☎25・2317
- バレーボール
- 期日 11月19日(日)

平成19年上田市成人式
実行委員募集

- 会場 上田城跡公園体育館・第二体育館
- 競技方法 女子9人制
- 参加資格 上田市に居住する者、市内事業所に勤務する者で構成
- チーム編成 中学生以上の女子選手12名以内、監督・コーチ・マネージャー各1名
- 参加料 1チーム30000円
- 申込方法 参加料を添えて11月1日(木)までに体育課へ。
- その他 試合用ボール(JVA検定18枚張4号球)を参加チームで1個持参すること。
- 問 事務局(麻生)
☎090・2219・0469

来年1月7日(日)(成人の日の前日)に市内7会場で開催する合併後初の成人式の企画、運営を行なう実行委員を募集します。

- 対象 昭和61年4月2日～昭和62年4月1日生れの方
- 応募締切 10月20日(金)
- 問 上田地区 生涯学習課青少年係
☎23・5104

- 丸 丸子地区 社会教育課
☎42・3147
- 真 真田地区 生涯学習係
☎72・2655
- 武 武石地区 学校教育係
☎85・2030



上田市スポーツ

振興審議会を公募します

●応募資格 市内在住の20歳以上75歳以下の方(審議会へ参画できるのは1人1審議会までです)

●募集人員 1名

●任期 2年間

●審議会の内容 合併後のスポーツ環境の整備、充実を進めるためのスポーツ振興計画及び体育施設整備計画の策定に向けての検討を行っています。

●応募方法 体育課にある申込書に、

相談

Information a La Carte

巡回行政相談所

国の仕事やその手続き、サービスについてどこに相談してよいか

「今後のスポーツ振興策(施設整備等含む)に望むこと」と題したレポート(800字以内・書式自由)を添えて体育課に提出。レポートと面接により決定させていただきます。

●締め切り 10月16日(月)

問 市体育課 ☎23・5105

からない」「納得できない」「こうしてほしい」といった、相談を受けるため、今年も「秋の行政相談週間」(10月16日(月)～22日(日))中に「巡回行政相談所」を開設します。

相談にはオンブスマンの機能を受け持つ総務省の行政相談委員が応じ、無料で秘密は厳守されます。

●日時/会場

10月18日(水)午前10時～正午/塩田公民館(農事研修室)

10月18日(水)午後2時～4時/川西公民館(第1会議室)

10月19日(木)午前10時～正午/城南公民館(指導室)

10月19日(木)午後2時～4時/上野が公民館(第2学習室)

●担当の行政相談委員(敬称略)

氏名(自治会)	電 話
坂田 章(柳沢)	☎38・2457
関 清子(城北)	☎23・1466
宮沢 由昇(下之条)	☎27・6779
竹沢 朝代(柳沢)	☎38・5807

問 市生活環境課 ☎23・5120

短歌

小宮山 久子 選

入選

忘れものせしごと揚羽また現はれ立秋の庭にもどる緊張
ヨルダンの戦火どこまで広がるか平和を語るこの八月に

下房山 秋山千枝子

丸堀 長谷川 貢

富士見台 北村 賢

佳作

西空に低くかかれる赤き月禍事あふるる星を照らせり

越戸 羽生田めぐ美

鮎釣の胸までつかる身をあんじ川の流れを静かにながむ

常入 関 礼子

郭公の声は夏野を渡りすぎ優しき霧のうすれ始むる

緑が丘西 宮澤 幸穂

山肌をのぼりゆく見ゆ朱夏の霧雨さわさわと降りたし後

中野 本木 せつ

選者詠

歌人らかつて競ひしこの郷によみがへれ美しき言葉よ詩よ

俳句

島田 洋子 選

入選

正座して賜る祝詞夏祭り

朝採りの瓜に生味噌歯にリズム 古里

炎天や干されしジープ仁王立ち

上室賀 和泉 光子

佳作

嘶家のいつしか脱ぎし夏羽織

草笛に素朴な風の生まれけり 中野

ランドセル縁に投げ置きた焼ける 小泉

噴水や遅るるままの花時計 上田原

梅雨明けやけやき並木に絵筆持つ 北大手町

空襲はまだ死語ならず蟬時雨 丸堀

七夕の色紙枝へと爪立つ子 北大手町

大花火「終り」と光る字の欲しや 御所

亡き母は美しかりしゆかた縫う 八木沢

選者吟 女衆を乗せて神輿の男佳し

川柳

青木 城風 選

入選

八起目を少し離れて親の愛

趣味多彩老いをどこかへ置き忘れ 中村

終らないこの道だから夢を持つ 諏訪形

佳作

梅雨時の月はオレンジ潤んでる 中野

やり直し出来ぬ人生精一杯 手塚

音だけで見えぬ花火の遠い恋 中村

次々と洗い次々乾く夏 保野

鮎釣りに点点と千曲川 常磐町

選挙終え米つきばったがイナバウアー 下常田

世の無常再会果たせず親友が逝く 八木沢

廃校に彩る野菊旧友偲ぶ 城北

母の影追って年忌の寺参り 諏訪部

選者吟 枯尾花小さな秋を誇示してる

中沢 健一

田中 信子

小林 まつ子

文芸欄選者の変更について 今月号の文芸欄から、短歌の選者として熊坂年成先生に代わり、小宮山久子先生に務めていただくことになりました。熊坂年成先生には、長い間「広報うへだ」文芸欄の選者として、短歌の普及に御尽力いただきありがとうございました。

12月号の投稿方法 はがきで①住所②氏名③自治会名④短歌・俳句・川柳の別を記入のうえ上田市教育委員会まで。住所 〒386-1002 天神2-4-74、締切り 10月23日(月)必着

マルチメディア情報センター

☎39・1000 URL <http://www.umic.jp/>

デジタルビデオ編集講座

デジタルビデオカメラで実際に撮影した運動会などを編集しながら、編集の基本をマスター。

日時 10月21日(土)13:30~16:30

持ち物 運動会などを撮影したメディア(DV-miniテープ/DVD)

対象 パソコン経験者

定員 16名(要事前申し込み) 料金 2,000円

土曜ビデオ鑑賞会

期日 10月14日~毎週土曜日

内容 「映像の世紀」(13:30~)、「信州映画百選」(15:00~)

定員 200名 料金 無料

メディアランドUEDAビデオ上映会

日時 毎週日曜日と祝祭日13:30~ 内容 「リトルロボット」

定員 200名 料金 無料

インターネット安全教室withはなわライブ中継

日時 10月15日(日)10:00~12:30

内容 前半はインターネットの安全な使い方について説明。後半は東京の「インターネット安全教室まつり」で行われる「はなわトークショー」をインターネットテレビ電話でライブ中継(参加費無料)。

市民プラザ・ゆう

☎27・2988

第1回市民プラザ・ゆう総合作品展

日時 作品展示 10月14日(土)・15日(日)10:00~17:00(15日は15:00まで)

茶 席 10月15日(日)10:00~14:00

作品販売 10月14日(土)10:00~

太極拳発表 10月14日(土)12:30~13:00(中央公民館中庭)

体験コーナー 10月14日(土)10:00~12:00

内容 作品展及び発表、活動内容についての紹介、バザーなど。育成グループの力作をどうぞご覧下さい。詳しくは市民プラザゆうへ。

~市民プラザ・ゆう講座終了者で行っている

育成グループの追加募集をします~

募集グループ 毛筆習字(桂筆会、きさらぎの会)/木目込み人形(おもと会)/フラワーアレンジメント(かすみ草会)/パッチワーク(すずらん、シクラメン、ラベンダー)/茶道裏千家(木曜会、みどり会)/太極拳(太極拳月曜会、太極拳さわやか、太極拳愛好会)/園芸(りんどうの会)/木彫り(木彫りの会)/英会話(オニオンリング)/中国語(瑞埼会)/ヨガ(さくらの会、パンジーの会)

締切日 10月20日(金)

申込み 市民プラザ・ゆうへ。

池波正太郎真田太平記館

☎28・7100 FAX28・7101

写真展「池波正太郎の信州」

信州をこよなく愛した池波正太郎が訪れた、上田・松代・長野・松本・木曾・湯田中などを、エッセイやエピソードとともに写真で紹介いたします。

期間 10月7日(土)~翌年1月8日(祝)

開館時間 10:00~18:00

休館日 11月まで無休。

12月以降は水曜日、

祝日の翌日、

年末年始は休館。



市内・刀屋にて▶

各施設イベント紹介

詳しくは、各施設へお問い合わせ下さい

上田情報ライブラリー

☎29・0210 FAX29・0211

講演会・座談会

「一ノ瀬綾さんのことばで交わす愛」

上田市(旧武石村)出身の女流作家・一ノ瀬綾さんが新作「流れ星」を携えて、今一番伝えたい愛を伝えることばについて語ります。

日時 10月8日(日)13:30~15:00

場所 上田情報ライブラリー(セミナールーム)

受講料 無料

山田誠浩・朗読への招待

元NHKアナウンサー山田誠浩さんによる朗読(瀬戸内寂聴作「水仙」・水上勉作「高瀬川・春」)をお楽しみください。

日時 10月21日(土)18:30~(開場18:00)

場所 上田情報ライブラリー(ことばの繭ホール)

定員 70名

料金 1,200円(前日までの電話予約1,000円)/会員2割引

申込み 10月4日(水)10:00から上田情報ライブラリーで受付。

エコ・ハウス

☎23・5144

不用なものがリサイクル・リフォームで生まれ変わる楽しさをエコ・ハウス「わくわく講座」で体験しませんか。

布ぞうり作り

日時 10月16日(月)・23日(月)10:00~15:00の2回コース

持ち物 ゆかたなど木綿の布、ものさし(30cm)、はさみ、弁当

参加費 100円 定員 10名

ネクタイからポーチ作り

日時 10月19日(木)10:00~15:00

持ち物 裁縫道具、ネクタイ2~3本、弁当

参加費 300円 定員 10名

銀粘土でアクセサリ作り

使用済の写真現像液や定着液などからのリサイクル銀粘土でストラップを作ります。

日時 10月24日(火)10:00~15:00

持ち物 磨き作業用にとろろ布、弁当

参加費 600円 定員 10名

~エコ・ハウス「修理工房」からお知らせ~

刃物研ぎ(無料)

毎週水曜日13:00~15:00/一人1回1本限り(1日10本で終了)

アクアプラザ上田

☎26・2626

アクアわくわくプラザまつり

日時 10月8日(日)10:00~12:00

内容 フリーマーケット、消防音楽隊の演奏、パトカー・消防自動車・救急車展示

~フリーマーケット出店者募集中~

区画 2.5m×5.0m(駐車枠)

出店料 300円(入浴券を購入)

申込み 10月7日(土)までにアクアプラザ上田へ(30区画/先着順)

「BSどーもくんワールド」公開録画



上田市とNHK長野放送局では、新生「上田市」の発足を記念して、「BSどーもくんワールド」の公開録画とNHK大河ドラマ「風林火山」の公開セミナーを開催します。

この番組では、NHKキャラクターのどーもくんとその仲間たちが繰り広げるお芝居やクイズを親子でお楽しみいただきます。

観覧をご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。

- 日時 11月19日(日) [開場]午後2時
[開演]午後2時30分 [終演]午後3時45分(予定)

- 会場 上田市民会館(二の丸1-2 ☎22-0762)

- 出演予定

＜出演＞どーもくん、うさじい、たーちゃん、
ななみちゃん、浜谷真理子、テツandトモ

＜ゲスト＞Mr.マリック(マジシャン)

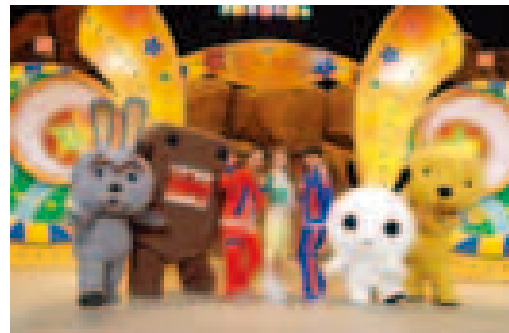
- 観覧申込(入場無料)

郵便往復はがき(私製を除く)でお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券(1枚で4人まで入場可)をお送りします。

入場整理券は満1歳以上のお子様から必要です。

＜締切り＞10月26日(木)必着



＜あて先＞

- ・往信用表面 〒386-8601(住所不要)
上田市役所「BSどーもくんワールド」係

- ・往信用裏面 ①郵便番号 ②住所
③名前 ④電話番号
⑤お子様の年齢

- ・返信用表面 ①郵便番号 ②住所 ③名前

- ・返信用裏面 何も書かないでください
(抽選結果を印刷して返送します)。

- 放送予定(衛星第2テレビ)

12月15日(金) 午後6時～6時40分

12月22日(金) 午後0時15分～0時55分(再放送)

NHK公開セミナー 大河ドラマ「風林火山」

作家の童門冬二氏を講師に迎え、来年1月スタートのNHK大河ドラマ「風林火山」の公開セミナーを開催します。

参加をご希望の方は、下記の要領でお申し込みください。

- 日時 12月17日(日) [開場]午後1時
[開演]午後2時
[終演]午後3時30分(予定)

- 会場 真田文化会館

(真田町長7199-1 / ☎72-2655)

- 講師 童門冬二(作家)

- 内容 「風林火山」プロモーション映像／講演「風林火山と信濃国」

- 参加申込(入場無料)

郵便往復はがき(私製を除く)でお申し込みください。

応募多数の場合は、抽選のうえ入場整理券(1枚で2人まで入場可)をお送りします。入場整理券は満1歳以上のお子様から必要です。

＜締切り＞12月1日(金)必着

＜あて先＞

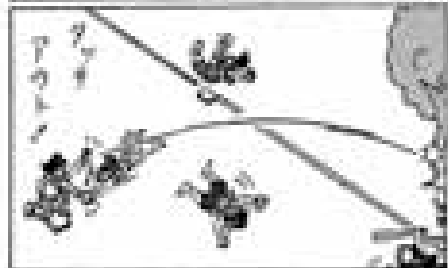
- ・往信用表面

〒386-8601(住所不要)上田市役所「NHK大河ドラマセミナー」係

- ・往信用裏面 ①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号

- ・返信用表面 ①郵便番号 ②住所 ③名前

- ・返信用裏面 何も書かないでください
(抽選結果を印刷して返送します)。



☎ NHK長野放送局 ☎026-291-5218(平日・午前10時～午後6時)

☎ 合併記念事業事務局 ☎22-4100(内線1003)

※記入に不備があった場合は無効となりますのでご注意ください。

※ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡のみに使用させていただきます。

合宿のメッカ 菅平高原に歓声



8月26日、ラグビーやサッカー！陸上の合宿地として知られる菅平高原のサニアパーク菅平で、合併記念ラグビー招待試合「早稲田大学×慶應義塾大学」の一戦が行われました。

この一戦は、両大学のOBや菅平高原観光協会などで組織する実行委員会が主催したもので、市内外から約3000人が観戦に訪れました。

試合には、日本ラグビー協会の会長で元首相の森喜朗さん（早大OB）も駆けつけ観戦しました。

そして、試合は前半、慶大が押しぎみに展開し、14対5でリード。後半は、昨年の大学王者の早大が反撃に転じ、好ゲームに。結局、終了間際にもトライをあげた早大が34対26で慶大を振り切りました。

菅平高原のラグビー合宿は、昭和6年の法政大学が始まり。その翌年には、早稲田大学が合宿を行い、現在は高校から社会人まで800を超えるチームが合宿に訪れています。

四つ葉 スケッチ



姉妹都市の提携

国内外の10都市 と調印式

妹 妹都市・友好都市提携、災害時応援協定の調印式が、8月18日に行われました。

この調印式は、合併前の旧4市町村がそれぞれ提携していた交流を継続するために行ったもので、国内外10都市との調印が行われました。

この日、調印を行った姉妹都市は、旧真田町が姉妹提携していたスイスのダボス町と和歌山県九度山町。



そして、旧上田市が連携していた神奈川県鎌倉市、新潟県上越市、兵庫県豊岡市。

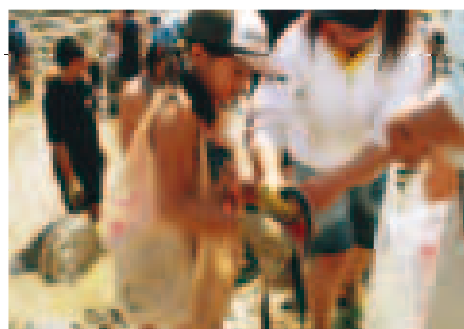
友好都市は、旧丸子町が提携していたアメリカのブルームフィールド市郡と、旧上田市が提携していた中国の寧波市、旧武石村が提携していた東京都練馬区です。

また、以上の国内5都市と埼玉県上尾市、静岡県沼津市とは災害時応援協定の調印を行いました。

調印式では、母袋市長と各都市の代表による調印書の署名が行われ、引き続き開かれた歓迎レセプションは各都市との最初の交流の場となりました。

人と川と地域を愛して

来年は爆水RUN で会おう



依田川を走る「信州爆水RUN」が、今年は7月の大雨の影響で中止になりましたが、来年の開催に向けて8月20日、「依田川クリーンアップ大作戦」が開催されました。信州爆水RUN in 依田川実行委員会が依田川の清掃と点検のため参加を呼びかけ、親子連れや小学生の団体など350人が集まりました。日差しが強く30度を超え



る猛暑の中、爆水RUNで使用する予定だった競技コースに加え、グラウンド横の露草橋付近の川の中も、集まった350人はごみの分別袋を持ちながら歩きました。作業後、本部前にはビンや金物類200kg、燃えるごみ260kgほどが集められ、ごみの山ができました。参加者からは「依田川が好き。ごみで川を汚したくない。来年こそ爆水RUNを実施してほしい」と感想が出されました。鮎やうなぎ800匹の放流によるつかみどり大会もあり、夏休み最後の親子で楽しめるイベントとなりました。

初秋を迎えたともしび博物館

萩見の茶会で にぎわう庭園



秋の七草「萩」が見ごろを迎えた9月3日、武石ともしび博物館で恒例となった「萩見の茶会」が

開かれました。8回目を迎えたこの茶会に、今年は150人以上の方が訪れました。この日は朝から晴天。日なたではまだまだ残暑はきびしいですが、風は心地よく日陰に入れば、秋の気配が感じられました。

庭園では、茶道教室「やまぶきの会」の皆さんにより、立礼・茶室の2席で、訪れた方々にお茶が振る舞われました。参加者の一人は萩が咲く庭園を眺めながら「昨年も来館し、庭園の景色がきれいだったので今年もこの景色を見に来ました」と話し、お茶の席を楽しんでいました。また、館内では「灯火」にまつわる版画展も同時開催され、訪れた方々の目を楽しませていました。

ともしび博物館はこれから紅葉の季節を迎え、庭園はますます美しさを増していきます。





特集

ブラジルの庶民の祭りが再現される、ブラジル田舎祭り。9月10日、旧一中グラウンドで行われた。

虹のかけはし

増え続ける外国籍市民 現状と課題

ここ数年、上田市では外国籍の市民が増え、県内では最も多い市町村となりました。市内の小中学校へも、外国籍の子どもたちが大勢通っています。

しかし、来日して間もない子どもたちは、日本語や日本の生活習慣がまったくわからず、心が不安定になることもありました。

そこで、県下では初めての集中日本語教室「虹のかけはし」がスタートしたのです。

浅井常子さん(上田・中央)は、上田市国際交流協議会の会長。昨年11月に発足した、上田市外国籍市民支援会議では、副会長を務めています。その浅井さんについてお話を伺いました。

浅井さんが会長を務める国際交流協議会は、発足から7年が経過しました。初めは、「英語圏の交流が主で、楽しみながらの活動でしたね」。立ち上がった当時は、外国籍市民も「今の半分以下だった」と言います。

同協議会が国際交流コーナー(旧上田郵便局)に設けたのは、社会福祉協議会がそこにできたときから。そのコーナーは当初、外国籍の市民をサポートするため

だったのですが、昨年ごろから毎日10人ほどが日本語の勉強に来る場となっていて、ボランティアだけでは運営が難しくなっているそうです。

中南米から 家族で日本へ

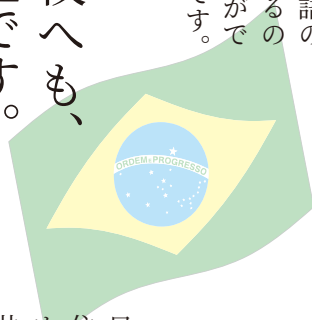
なぜ、外国籍市民が急激に増えたのか？それは、1990年の入国管理法の改正で、それまでの日系2世に加えて3世とその家族に、就労活動に制限のない定住者の在留資格が与えられたことも引き金になっています。

「当時、日本の企業は人手不足で、労働力を必要としていました。一方、日系人たちは働く場所が欲しかったことから、多



浅井常子(あさい・つねこ)さん。
ふれあい福祉センターにある、
国際交流コーナーで。

帰るにせよ、定住するにせよ、
教育は必要です。ブラジル人学校へも、
日本の学校へも行かないのは問題です。
浅井常子さん 上田市国際交流協議会会長



くの人が家族ぐるみで入国しました。上田地域の企業も同じで、増加する日系人の家族の生活を支える雇用があり、いつの間にか上田は県下で最も外国籍市民の多い市になりました」。

市内には6200人を超える外国籍市民がいますが、「4000人くらいは日系人で、中南米からの定住者が増える傾向にありますね」と浅井さん。

子どもたちの教育が課題に

来日する中南米からの日系人のうち、日本語のできる人はごく少数です。中には、母国語の読み書きができない人もいるのが実情。「アメリカは、英語ができないと定住できない国です」。

重ねていくんです」と浅井さんは話します。

母国の経済が良くなれば帰るのでしょうが、日本で働いて稼いで帰っても、また日本へ戻って来る人がいるなど、母国にはあまり仕事がないと言います。

特集 虹のかけはし

外国人登録者数の推移

(単位:人)

	H7	H12	H17	H18
ブラジル	803	2,366	2,737	3,172
中国	268	527	836	1,043
ペルー	68	304	466	486
韓国	251	260	316	349
インドネシア	98	192	250	296
タイ	142	196	206	249
ボリビア	5	47	151	163
フィリピン	47	95	95	114
その他	131	253	335	365
合計	1,813	4,240	5,392	6,237

※H7～H17は旧上田市の12月末の数値で、H18は新上田市の8月末の数値。

平成18年4月末の登録者数

上田地域	丸子地域	真田地域	武石地域
5,323人	732人	111人	58人

日本では言葉ができなくても定住できますが、共生していくためには日本語は大切です」と浅井さんは強調します。

市でも、外国籍市民の日常生活の支援をするため、職員2名がポルトガル語による窓口相談を行っています。しかし、家族で来日することになって、新たな課題が起きました。それは、外国籍の子どもたちの教育です。

「2～3年で帰るにせよ、定住するにせよ教育は必要です。ブラジル人学校へも、日本の学校へも行かないのは問題です」。親は働きに行き、子どもだけが家に残されている。「その子が、これからどちらの国で生活する

にせよ、将来のためになるとは思えませんが」と浅井さんは心配します。

「ブラジルに帰って進学するならば、ブラジル人学校に通った方がいいでしょう。でも、日本に定住を考えれば、日本の学校に通うべき」と浅井さんは言います。

しかし、日本の学校に入るとなると、年齢に応じた学年に入ることになるため、言葉と文化の違いで先生も本人も、また、その親も本当に大変なのです。

「そうした大変な状況にある子どもたちをサポートすることも、大事な活動と考えます」と浅井さんは話していました。

日本語がほとんど話せない、中南米からの定住者が増加。その子どもたちの教育は？しかし、実際に日本の学校へ通うとなると、言葉や生活習慣の違いは大きな障害です。

市内に在籍している外国籍児童は、5月1日現在で251人。教育委員会では従来から、外国籍児童の多い学校に教員を加配して日本語教室を設置したり、市独自にバイリンガル日本語指導員を派遣してきました。

日本語に慣れる場が必要に

しかし、来日して間もないため、日本語や日本の生活習慣がまったくわからない外国籍児童は、不登校になったり、心が不

安定になったりすることもありました。また、保護者と十分な

県からも一緒に取り組みませんかと話があり、去年から準備を進めていました。

田口悦子 上田市教育委員会子ども教育課長



学校教育などを担当する、子ども教育課の田口悦子(たぐち・えつこ)課長。

集中日本語教室の設置 開設の経過

8月23日に行われた、集中日本語教室のオープニングセレモニー。

コミュニケーションが図れないために、トラブルが発生することがありました。

そこで、日常会話などをまず学び、日本語に慣れるための集中日本語教室「虹のかけはし」を8月23日、東小学校に開設しました。

子ども教育課で田口悦子課長に聞くと、「プレスクールのような支援が必要だという話が、いろいろな場で出てくるようになりました」。

県内でも外国籍の児童が増えていく中で、「県からも、モデルケースとして一緒に取り組みませんか」と話があり、去年から準備を進め、この6月から試行し、正式にスタートしました」と田口課長。

県下で初めての 集中日本語教室

集中日本語教室は、東小学校の空き教室を利用して行われ、日本語とポルトガル語に堪能な教員が指導にあたります。

そして、ポルトガル語を話せる市民協働課の職員や浅井さんをはじめとする、ボランティアの方々が補助員として手伝いをしています。

子どもたちは、3〜6か月でこの教室を修了し、住所地の学校の日本語教室に移るようになるそうです。本来、通うべき学校へ行くことになりませんが、体育など一緒にできる授業には出

●外国籍児童生徒の在籍状況 (単位:人)

年度	小学校	中学校	計
H15	120	50	170
H16	139	54	193
H17	160	60	220
H18	181	70	251

(各年5月1日現在)

※H15〜17は旧上田市の数値で、H18は新上田市の数値。

●外国籍児童生徒が多い学校

小学校… 神川37人、南35人、東27人、北15人、
神科14人、中塩田9人、丸子北9人
中学校… 第一28人、第四20人

●日本語教室設置校

小学校… 東、北、神川、中塩田、南、丸子北
中学校… 第一、第四

(5月1日現在)

てもらい、国語や社会などの時間には日本語教室で授業を受けるようになります」と課長。

集中日本語教室は、「家族にも日本の制度をわかってもらおう、いい機会になると思います」と期待しています。

県と市の協働で 始まった

一方、県教育委員会の義務教育チームの鶴田明生チームリーダーは話します。

「昨年の5～6月に県下6会場で、外国籍の子どもたちを支援している地域の方々の声を聞く機会がありました。上田もその会場の一つでした」。

そこで聞いた声は、外国籍の

子どもたちや日本語教室の実情でした。そこで、「何とかしたい」と思い、上田市さんと一緒にやっていきたいと考えました」と鶴田リーダー。

市の呼びかけで昨年11月、行政だけでなく企業や市民も参加する外国籍市民支援会議が立ち上がったことも、大きな要因だと言います。また、親と子の日本語教室が盛んなこと、熱心なボランティアの方々がいることも、理由の一つだそうです。

集中日本語教室の先生の人件費は、市と県が負担しあっていると言います。

外国籍児童生徒の教育は、「県

集中日本語教室は、市民の方の声から できあがっていったものです。

鶴田明生さん 長野県教育委員会義務教育チームリーダー



義務教育チームの鶴田明生(つるた・あきお)チームリーダー。30人規模学級なども、同部署の担当。

特集 虹のかけはし

集中日本語教室は、東小学校の空き教室を利用して行われている。



としても切実な問題と考えています」と鶴田リーダーは話します。「教育はこの国の子どもでも、必要なものですから」。

日本語をまず 覚えてほしい

「帰国するならブラジルの勉強が必要ですが、日本にいるなら、日本語はまず覚えてほしいと思います」。かといって、外国籍児童が増える中、日本語教室を設け、「先生をただ配置しただけではだめなんです」と鶴田リーダー。

住む場所で学校は決まります。でも、来日間もない言葉も習慣もわからない子どもたちには、本来通うべき学校へ行く前に、「ワンクッションあった方がいい」と考えました。それがないと、子どもも先生も大変ですから」。

集中日本語教室は、「市民の声からできあがったものです。上田市ならではの地域や企業との連携ができることを期待しています」と話していました。

オープニングセレモニーの日、東小学校の体育館で紹介された虹のかけはしの児童生徒は8人でした。それが、9月上旬にはほぼ定員の18人のクラスになりました。この教室の対象は、小学生から中学生まで。日本語がまったくわからない子どもたちが、市内各地から通っています。

多文化共生に つながれば

県下では初めての取り組みで、他県でも例のないという県

と市の協働で始まった集中日本語教室・虹のかけはし。オープニング当初から、「取材を受ける機会が多かった」と東小学校の増田善雄校長は話します。

もともと市内でも、外国籍の児童が多かった同校。昨年の東小祭のときには、ブラジルの方がブラジル料理をつくって販売するなど、外国籍市民との交流はあった学校です。

増田校長は、虹のかけはしを「いい教室ができたので、大事にしていきたいですね」と話します。

教室のこれからの運営 担当の思い



かるたの要領で、文字を覚える授業。

けばいいと思います。共生は、学校から始まるのではないかと思っています」。

今後は、「お互いに教室訪問をしたり、運動したり、学年行事やゲーム、掃除なども一緒にやってもらうことを計画していきます」と増田校長。

在籍校の生活へ スムーズに

虹のかけはしの子どもたちは、籍が住んでいるところの学校にあります。東小学校までの送迎は、保護者の責任。

送迎などの問題で、通うことができない子どもたちもいると言います。その子どもたちをどうするか、「これから考えていかなければいけないことです」と増田校長。それは一つの課題だと言います。

虹のかけはしの子どもたちには、「日本語も習慣もある程度わかり、在籍する住所地の学校で、学校生活にスムーズに溶け込んでいってほしいと思います。ここで勉強して、良かったとなればいいですね」。

そして、「本校では虹のかけはしがあるおかげで、外国の習慣がわかったり、文化がわかったりします」。

「できたばかりですが、本校の児童にも虹のかけはしの児童

本校の子にも虹のかけはしの子にも、双方に
意味あるものにしていききたいと思っています。

増田善雄さん 東小学校長



増田善雄(ますだ・よしお)校長。東小学校へ赴任して、2年目を迎える。

県内の平成17年5月の、外国籍の就学児童数は1,950人。未就学児童数は520人で、全体の21.1%。県のホームページで、調査結果が公表されています。



こうした教材を使って、授業が進められる。



林菊枝(はやし・きくえ)先生。
1930年に父がブラジルへ渡り、
先生は36歳のとき来日。



教室には九九が張られている。

教室の子の親たちも、子どもを通じて
わかっていくことを期待しています。

林菊枝さん 集中日本語教室担当教員

生徒にも、双方に意味あるもの
にしていきたい」というのが増
田校長の願いです。

親は言葉が話せず
苦労している

虹のかけはしを受け持つの
は、林菊枝先生。ブラジルで教
員を務めていた林先生は、ポル
トガル語も日本語も堪能です。
先生は、平成15年に上田合同
庁舎で国際交流推進協議会の外
国人サポーターを務め、昨年は
市内の小中学校を回り、日本語

の指導やお便りの翻訳などをす
る日本語教育指導員を務めてい
ました。それが縁で、虹のかけ
はしの担当教員になりました。
「親は言葉が話せなくて、苦
労しています。だから、子ども
にはそうさせたくないと思っ
ていますね」と林先生。

「最初は子どもたちが、この
教室に来てくれるか不安でし
た。今はほとんどが、ブラジル
から来た子どもたちです」。
1・2時間目の授業は、ひら
がなとカタカナを書く。3時間
目は、カードを使って数字を覚

特集 虹のかけはし



時にはじゃんけんも。楽しみながら覚えている。

える。4・5時間目は、ゲーム
で言葉を覚える。林先生は、「楽
しんで覚えてもらうことを考え
ています」と話します。

気遣う心を
持ってほしい

そして、給食も同じように食
べていると言います。「苦手な納
豆も、だんだん食べられるよう
になってきました。はしも、が
んばって使っています」。

「ここでは、共通の言葉は日
本語です。日本の文化にふれな
がら、いいところを見習ってい
くことが必要だと思います」。

「子どもたちには、気遣う心
を持ってほしいですね。自分の
得になることですから」。

●不要な学用品をお譲りください

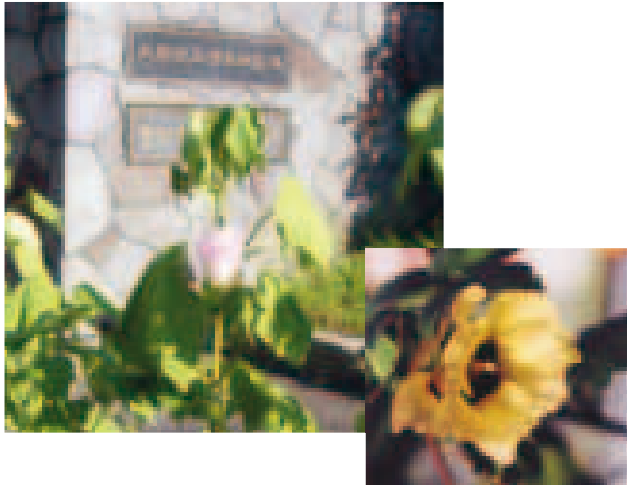
来日したばかりで十分な準備ができない子どもたちのため
に、集中日本語教室では不要になった学用品の提供を呼び
かけています。

ご家庭に使わなくなったランドセルや楽器(鍵盤ハーモニ
カ、リコーダー)などがありましたら、東小学校または子ども
教育課までお持ちください。

問 市 子ども教育課 ☎23・5101 FAX23・3745



そして、「親たちも、子どもを
通じてわかっていくことを期待
しています」。



信大繊維学部正門前の綿花 撮影／中澤昭治さん(丸子・塩川)

「信州大学繊維学部の正門前で、ぱっくん^{たい}堆肥で育てた綿花が咲きました」と写真を投稿してくれたのは、中澤昭治(なかざわ・しょうじ)さんです。

ぱっくんは生ごみ堆肥化の基材で、生ごみの減量化のために開発されたものです。

「この茶綿(右)のほか、アジア綿、カリフォルニア綿(左)が同時期(8月上旬)に咲きました。上小地域有機資源循環ネットの活動、及び繊維学部構内の美化活動の一環として栽培しているようです」。

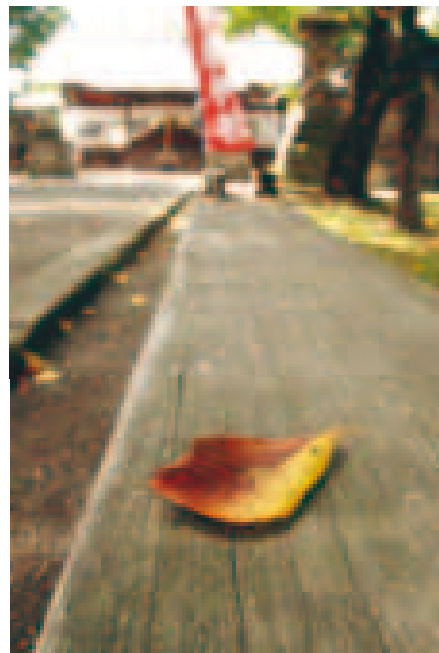
「ひとやすみ」

撮影／友部勉さん(上田・芳田)

「上田城内を散策していると、秋を感じさせる季節になってきました。真田神社、本丸などでは枯葉が落ち始め色づきはじめました。

上田城も観光客がちらほらと訪れるころ、落ち葉もベンチで一休み」。

友部勉(ともべ・つとむ)さんから送っていただきました。9月11日撮影の写真だそうです。



人の動き

(平成18年9月1日現在)

人口：161,589人 男：79,115人 女：82,474人 世帯数：60,979戸 外国人登録者数：6,237人 男：3,079人 女：3,158人



上田市
携帯サイト